

令和3年度 市長会一般会計・特別会計事業報告及び決算報告（概要版）

一般会計事業

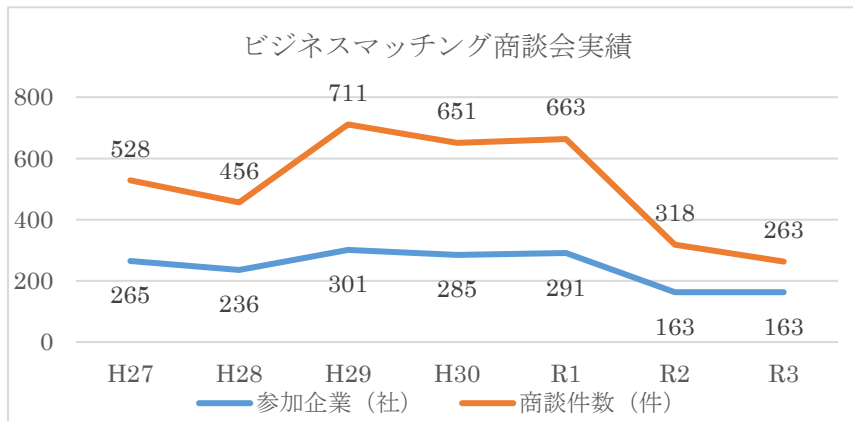
1 活力にあふれる圏域づくり【産業振興】

①圏域企業の産業連携支援事業

(1) 圏域内企業情報データベースの充実、圏域内企業のビジネスマッチング <資料1 P 3 >

◆圏域内企業のビジネスマッチングの開催。

- ビジネスマッチング商談会（10/28 オンライン開催）
- 商談参加企業数：163社
- 当日商談件数：263件



(2) 産学・医工連携事業 <資料1 P 5 >

◆医療・福祉・介護機器の開発支援

- 医療機器等の新製品開発（実用化）

- ・歯科医師向け歯周ポケット深さ測定器「ピーケンサ」の開発

圏域外企業からの相談を受けた協議会が、圏域内企業と社会福祉施設と連携し、測定時の患者の衝撃緩和及び操作性の向上を図った使い捨ての歯周ポケット深さ測定器「ピーケンサ」を共同開発した。

- ・不織布マスク用装着補助具「マスクサポート」の販売支援

医工連携での商品開発をビジネスとして成立させることを目的として、「マスクサポート」の販売支援に取り組んだ。（米子市役所内福祉の店おおぞらでの販売等）



【実施状況】

項目	H29	H30	R1	R2	R3
①実用化件数	1	0	0	3	2
②相談件数	78	101	113	55	137
③マッチング成立件数	0	12	6	5	7

②圏域内企業の海外展開支援事業

(1) インドとの経済交流事業 <資料1 P8、9>

◆第2回セミナー・ビジネスフォーラムの開催（オンライン開催）

圏域とケララ州の更なる経済連携及び両国企業のビジネス機会創出を目的に、昨年度開催に続き、第2回オンラインビジネスフォーラムを開催した。今回はケララ州企業が自社製品や事業を紹介し、日本側とのビジネス連携の可能性を探った。

開催日 : 11月16日(火)
 参加者数 : 両国の行政、企業関係者約100人
 主催・共催 : 圏域市長会、ケララ州、
 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会
 印日商工会ケララ (INJACK)、山陰インド協会、
 ジェトロ (松江・鳥取・チェンナイ)



◆インド人材向け日本語教育の実施

インターンシップ参加候補者向けオンライン日本語教育を実施した。

◆インターンシップ圏域受入企業オンライン説明会及び個別説明会

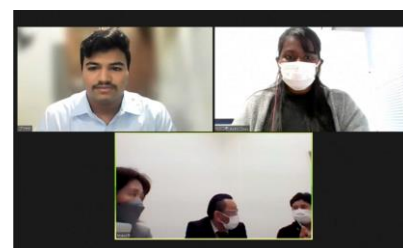
インターンシップ事業の代替として、希望する受入企業及びインターンシップ参加候補生を対象に、オンラインで企業説明や個別面談できる場を設け、インドIT等人材の受入企業への就職の可能性を探る機会とした。

〔圏域内企業説明〕

圏域内企業5社が、動画又は資料により企業情報を提供

開催時期：12月～1月

参加者数：10名



〔個別面談〕

開催日：2月16日

面談企業数：1社

参加者数：5名（希望者10名のうち、面談企業とのマッチングにより5名選定）

【実施状況】

年度	H30	R1	R2	R3
①インドIT等人材の圏域内企業への就職者数(人)	5	0	0	2
②日印間業務提携企業数(社)	1	0	0	0
③インド人留学生インターンシップ受入れ人数(人)	14	—	—	4

(2) 台湾との経済交流事業 <資料1 P10>

◆「T J コネクトフェア 2021」(日台総合産業マッチング大会)

圏域内企業と台湾企業とのビジネスマッチング相談会(オンライン商談会)を実施した。

開催日:10月21日(木)

相談会場:テクノアークしまね(圏域内企業)、T J コネクトフェア会場(台湾企業)

圏域内参加企業数:4社(事前にマッチングした台湾企業各1社と相談実施)



③山陰いいものマルシェプロジェクト

(1) 山陰いいものマルシェプロジェクト <資料1 P11>

◆山陰いいものマルシェ マッチング商談会

開催日:3月23日(水)

会場:松江テルサ

参加事業者:29社(うち圏域内事業者20社)

招致バイヤー:9社



◆圏域外でのマルシェ開催(協力)

○山陰いいものマルシェ in 金沢クルーズ“旅”マルシェ(金沢港)

開催日:10月9日(土)、10日(日)

主催:クルーズ“旅”マルシェ2021実行委員会

出店者数:9社(うち圏域内企業7社)



○山陰いいものプレミアムマルシェ in イオン松江 SC

開催日:10月30日(土)、31日(日)

主催:イオン松江ショッピングセンター

出店者数:30日/8社(うち圏域内企業7社)、
31日/7社(うち圏域内企業6社)



◆海外展開事業

○海外向け・国内向け EC サービス研修会

内容:中国越境 EC サービス「全日空^{ベイタオ}海淘」(株)ACD(ANA 関連会社)の取組み等

開催日:3月30日(水)(オンライン開催)

参加事業者:9社(山陰いいものマルシェプロジェクト出店登録事業者、EC 事業に興味がある島根・鳥取県内事業者)



①外国人誘客対策事業

(1) クルーズ客船寄港時のおもてなし <資料1 P32>

令和3年度寄港回数 2回 4/16・10/31 (参考: 令和2年度寄港実績 0回)

◆岸壁における観光案内業務・交流イベント 実績なし

◆外国語ボランティアガイドによる観光案内業務 実績なし

- ・対応可能言語: 英語、韓国語、中国語、その他
- ※当初予定: 中海・宍道湖観光協会会議に委託



◆圏域周遊及び旅行消費拡大の取組み

- ・金沢クルーズ旅マルシェへの出展 10/9~10/10
- ・安心・安全な歴史文化体験・まち歩きツアー (在日外国人対象) 1/13 実施
- ※国土交通省補助: クルーズの安全安心な受入れを通じた地域活性化事業

(2) 圏域インバウンドプロモーション <資料1 P33>

◆海外への観光プロモーション

○WEBを活用した情報発信

- ・台湾リモート商談会 12/3 実施

(観光庁補助金: 観光庁訪日外国人旅行者周遊促進事業)

○台湾向け重点プロモーション (情報発信、現地商談会等)

- ・訪日外国人向け情報サイト「JAPANKURU」記事制作、配信
- ・建国花市圏域観光ブース出展 (1/22~1/23)
- ・一畑トラベル現地事務所を活用した現地での情報発信

○英語版ホームページ改修、新規エピソード追加

○英語版フェイスブック、インスタグラムの運営委託

○JNTO (日本政府観光局) 賛助会員への加入

- ・JNTO オウンドメディア事業

「弓ヶ浜サイクリングコース」の情報発信

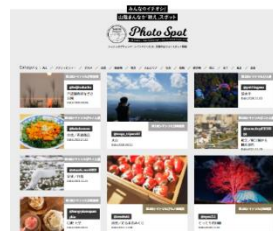


②国内誘客対策事業

(1) 国内広域観光プロモーション <資料1 P34>

◆クロスメディアによる情報発信事業

- ・圏域記事を掲載したプレスリリース及びWEB広告
- ・新規ツアープラン2件作成
- ・インフルエンサーによる情報発信、
- ・雑誌「旅の手帖」タイアップ等



◆WEBによるプロモーション

- ・日本語ホームページの機能充実、モデルコース追加
- ・フォトスポットギャラリー新設
- ・集英社「BAILA」記事によるWEB及びSNS情報発信

(2) 人口集積地（発地型）誘客プロモーション事業 <資料1 P35>

◆マイクロツーリズムの促進

- ・BSS ラジオ「中四国ライブネット」圏域グルメ紹介（5/23 放送）
- ・広島「NAVIA」圏域紹介動画放映（7月～12月）
- ・インスタグラマーを活用した情報発信（9月 計10投稿）
- ・触れる動画「TIG システム」を活用した動画配信（8月～11月）



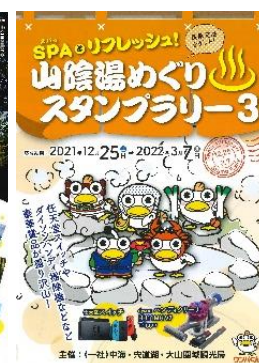
◆基幹交通機関と連携した観光プロモーションの実施

- ・JR京阪神地区主要駅（大阪、三ノ宮など）でのPRキャラバンの実施
年4回（当初予定：6月、9月、12月、2月） 中止
- ・FDA 機内誌（秋号）広告記事掲載
- ・出雲空港及び米子空港の冬季の利用促進のための負担金

(3) 圏域観光再生支援プログラム <資料1 P36>

◆マイクロツーリズムに対応した現地プロモーション

- ・「まっぷるドライブ」記事掲載
- ・大阪「EDION ビジョンなんば」圏域紹介動画放映



◆周遊促進キャンペーン

- ・うんぱく三城重ね捺しスタンプラリー（7月～中止）
- ・Instagramハッシュタグキャンペーン（11/1～1/15 計1,859投稿）
- ・山陰湯めぐりスタンプラリー 応募総数381件
（12/25～（一時中断）～4/25）

◆感染症予防対策と両立した情報発信

- ・テレビせとうち特別番組制作（5/30 放送）
- ・テレビせとうちエリアCM放映（8月～9月）



③圏域観光の魅力アップ事業

(1) 圏域周遊促進及び受入環境充実 <資料1 P37>

◆テーマ別コンテンツの磨き上げ

- ・山陰の手仕事・クラフトツーリズム広域交流推進事業
- ・温泉宿泊施設を活用したワーケーション商品造成事業
（観光庁補助金：観光庁訪日外国人旅行者周遊促進事業）



◆圏域周遊の促進

- ・フォトギャラリーを活用したオリジナル周遊ルート作成システムの構築

◆外国人観光客受入環境整備

- ・令和2年度「グローバルコンテンツ造成事業」での造成コース評価、磨き上げとモニタツア
ー実施



- ◆「縁結びスマートナビ」アプリ維持管理・運用業務 ⇒ 令和4年3月31日廃止

3 住みたくなる圏域づくり【環境の充実】

①自然環境の保全・活用事業

(1) 自然環境の豊かさ・保全に係る普及啓発 <資料1 P14>

◆子ども探検スクールの開催

○夏季企画（再生可能エネルギー学習、環境保全学習）全4コース

各コースで多数の参加申込があったが、開催直前の新型コロナウイルス感染症のまん延により開催中止。

○冬季企画（宍道湖と中海の水鳥観察会）全3コース

・出雲会場（宍道湖エリア）コース

日時：12月18日（土）午前

会場：宍道湖グリーンパーク

参加者：14人（6家族） ※申込受付人数38人/定員20人

・出雲会場（宍道湖エリア）コース

日時：12月18日（土）午後

会場：宍道湖グリーンパーク

参加者：16人（8家族）参加 ※申込受付人数44人/定員20人

・米子会場（中海エリア）コース

日時：12月19日（日）午前

会場：米子水鳥公園ネイチャーセンター、米子港

参加者：10人（4家族）参加 ※申込受付人数32人/定員20人



②安心して暮らすことのできる環境づくり事業

(2) 防災対策の充実 <資料1 P16>

◆構成市町村の防災担当課による連絡協議会開催

・連絡協議会の開催（11月、1月、3月書面開催）

・通信訓練の実施（2月10日（木）9:00～10:30 会場：各自治体執務室）

※2月10日に開催予定していた図上訓練（会場：松江市役所防災センター）は、新型コロナウイルス感染症のまん延により中止。

◆各市間で融通し使用する防災資機材の購入避難所用パーティション

・米子市、松江市、出雲市 各8張

・安来市、境港市 各2張



4 ともに歩む圏域づくり【連携と協働】

①圏域情報の共有・発信

(1) 圏域内外へのエリアプロモーション <資料1 P17、18>

◆中海・宍道湖・大山圏域振興ビジョン改訂

圏域振興ビジョンの策定から10年を迎える節目にあたり、圏域振興ビジョン策定から令和3年度までの取組の成果や課題を整理するとともに、さらには新たに圏域が進むべき方向性を盛り込むために圏域振興ビジョン改訂。

新たな時代へ大きく飛躍していくための、めざすべき将来像

水と緑がつながる 人がつながる 神話の国から 未来につなげる
~あたかも一つのまち 住みたくなる中海・宍道湖・大山圏域~
新たなステージは 人口減少を克服し、新たな圏域の元気を創造!!

将来像を実現するための基本方向及び基本目標

しごと創造 ~仕事づくりで圏域を元気に~
基本方向1 活力にあふれる圏域づくり **産業振興**
【基本目標】
1. 力強い産業圏域の形成
2. 地産外販による稼ぐ圏域の実現
3. 東アジアに向けたゲートウェイ機能の向上と活用

ふるさと創造 ~地域資源を活かして圏域を元気に~
基本方向3 次代につなぐ圏域づくり **保全・継承と活用**
【基本目標】
1. 自然環境の保全と活用
2. 多様な資源の継承と活用
3. クリーン社会の実現

賑わい創造 ~観光客を増やして圏域を元気に~
基本方向2 訪ねてみたい圏域づくり **観光振興**
【基本目標】
1. 観光地域づくりの推進
2. 圏域観光の魅力向上
3. インバウンド観光の促進

拠点創造 ~ネットワークづくりで圏域を元気に~
基本方向4 ともに歩む圏域づくり **連携と協働**
【基本目標】
1. 未来を創造する圏域8のルート等の整備促進
2. 圏域への移住・定住の促進
3. デジタル時代を支える基盤整備と人材育成
4. 安心して移らすことのできる環境の充実

◆中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業

新聞記事を活用し、改訂する振興ビジョンの内容及び、市長会事業に関する特集記事を掲載し、圏域内への情報発信

新聞社 山陰中央新報社 新日本海新聞社
掲載日 4月2日(土)
掲載スペース 1面(全24段カラー)
掲載内容 市長コメント(300字程度)、写真、振興ビジョンの改訂内容など
発行部数 ①山陰中央新報社 173,000部(うち圏域内112,000部)
②日本海新聞社 143,385部(うち圏域内54,167部)

①圏域内の連携・交流促進

(1) 圏域内の連携・交流推進 <資料1 P19>

◆中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会との連携推進

○10/11 合同勉強会

講師：東京大学地域未来社会連携研究機構 機構長 松原宏 氏

演題：「スマートかつ強靱な地域経済社会と中海・宍道湖・大山圏域の課題」

○3/12 合同勉強会

演題：地域発展の源は「旅行」にあり ～持続可能な地域発展に必要なこと～

講師：クラブツーリズム株式会社 地域共創事業部 部長 樋山智彦氏

◆圏域内インフラの整備促進に関する要望活動、圏域一体となって取り組む事業の推進・強化 【要望活動】

○「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」令和3年度役員会開催（5/19）

○中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に係る国土交通省に対する要望活動

・郵送による要望活動（6月）

・国土交通省 鉄道局次長への要望活動（1/12）

○松江駅、出雲駅、米子駅、安来駅、境港駅の周辺施設等に新幹線PR看板を設置。

○境港整備に係る国交省、鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動

・郵送による要望活動（9月）

○中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC～境港間)整備促進総決起大会

・新型コロナウイルス感染症の影響により総決起大会は中止となり、オンラインにより国土交通及び鳥取県・島根県選出国會議員に対する要望活動を実施（2月）



新幹線看板



鉄道局での要望活動

◆全国街道交流会議第13回全国大会山陰大会

中海・宍道湖・大山圏域市長会発足10周年記念事業として、全国街道交流会議第13回全国大会「山陰大会」を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度に延期。

(2) 人材育成の共同化 <資料1 P21>

◆官民が連携した人材育成研修の実施

○山陰まんなか未来創造塾」の開催

〔第1回〕

日 時：2月3日（木） 18:30～20:00

講 師：伊藤聡子氏

演 題：コロナをチャンスに！地域から輝く日本へ

受講者：27人（うち行政職員17人）



〔第2回〕

日 時：2月8日（火） 18:30～20:00

講 師：永濱利廣氏

演 題：アフターコロナを見据えた経済展望

受講者：28人（うち行政職員15人）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、受講生募集案内後、オンライン形式に変更して開催。

◆圏域未来人材の育成

○「SDGs 入門セミナー」の開催

日 時：1月19日（水） オンラインによる開催

講 師：井上光悦氏

演 題：持続可能な開発目標（SDGs）の基礎を学ぼう

受講者数： 37人（企業・商工団体：10人、行政：27人）



○発明楽普及支援事業の実施

圏域の高校生を中心とした次世代の産業人材の育成及び技術・製品開発能力の向上に向けた機運醸成を目的とした発明楽コンテストに対し、支援を行った。

- ・ 名 称 第3回発明楽コンテスト（高校生による発明案プレゼンテーションコンテスト）
- ・ 開催日程 令和4年3月26日（土）
- ・ 開催時間 13：00～14：45 オンラインにより実施
- ・ 募集内容 「地方の自然豊かな環境下に於ける DX ベストミックスアイデア」
「困っている課題を解決し、まわりの人が笑顔や幸福（Well-Being）になれるアイデア」
- ・ 応募総数（チーム総数）
鳥取県4校（18チーム）、島根県 2校（3チーム） 計6校（21チーム） 総勢66名
圏域から、4校（米子東高校・境高校・松江農林高校・出雲高校）が参加



(3) 圏域情報活用推進事業 <資料1 P24>

令和2年2月に締結した国立大学法人東京大学地域未来社会連携研究機構との協定に基づき、地域課題政策立案プログラムを推進する。

◆RESAS 研修会

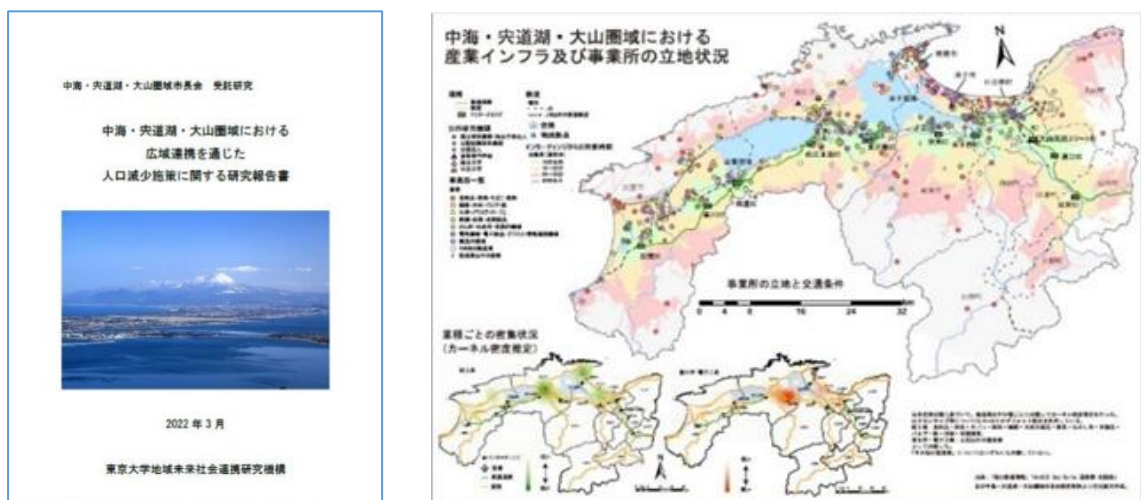
各市担当者が RESAS により人口動態分析及び、産業分析を行い、政策課題と政策提案を盛り込んだ報告を行い、意見交換を行った。

第1回 6月17日(木) 14:00~16:00 (オンラインにより実施)

第2回 9月13日(月) 14:00~16:00 (オンラインにより実施)

◆中海・宍道湖・大山圏域における広域連携を通じた人口減少施策に関する研究業務

中海・宍道湖・大山圏域における人口動態とその要因を、各市の政策ヒアリング(2/15開催)及び RESAS 等の各種データを活用して分析するとともに、他の地域の取組などを参照しながら、圏域独自の広域連携を活かし、圏域の一体的な発展に資する新たな人口減少対策等を検討した。



(4) 移住・定住等促進事業 <資料1 P26>

◆首都圏大学との圏域キャンパス事業

東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働プログラム及び体験活動プログラムに参加し、学生に対しオンライン講座とフィールドワークを実施した。

○フィールドスタディ型政策協働プログラム

テーマ：うんぱく3城連携誘客について～地域連携による滞在型ツーリズムをデザイン～

【オンライン講座】

① 9月28日(火) 14:30~16:00

講師：中海・宍道湖・大山圏域観光局 理事長 矢野正紀氏

② 9月29日(水) 10:00~11:30

講師：米子市文化振興課 課長補佐 濱野浩美氏

一般社団法人米子観光まちづくり公社 理事長 川越博行氏

③ 9月30日(木) 10:00~11:30

講師：松江城調査研究室 室長 飯塚康行氏
松江市史松江城部会 会長 西尾克己氏
一般社団法人松江観光協会 事務局長 金山正樹氏

④ 9月30日(木) 15:00~16:30

講師：安来市教育委員会文化財課 課長 水口晶郎氏
安来市立歴史資料館 館長 平原金造氏

【フィールドワーク】

12月18日(土) 松江歴史館 見学 松江城エリア散策

12月19日(日) 月山富田城跡エリア散策 米子城跡及び下町エリア散策



○体験活動プログラム

活動名：ラムサール条約湿地「宍道湖」・「中海」で水環境と生態系保全の未来を考える

【フィールドワーク】

12月11日(土)～12月12日(日)

宍道湖漁協に協力を頂き、宍道湖から得られる恵について体験(漁、資源保護活動、食等)。さらに、地域住民の宍道湖に対する想いに触れるため、漁師等との意見交換を行った。また、松江城や白潟公園等の宍道湖周辺の地域資源の見学を行った。



【オンライン講座】

①1月14日(金) 10:30~12:00

講師 米子水鳥公園 館長 神谷要氏

②1月26日(水) 10:30~12:00

講師 島根県環境政策課 企画幹 狩野好宏氏

③1月26日(水) 15:00~16:30

講師 ホシザキグリーン財団 係長 岩西哲氏

◆島根大学・若者を共に育てるプロジェクト

島根大学地域人材育成コースの学生に対し、各市がフィールドワーク場所の候補地や地域課題を提供し、バスツアーでのフィールドワークを実施した。

○イノベーション創成セミナーⅠ・Ⅱ 63名参加

日 時：9月28日（火）

訪問先：①松江市（6名）、②出雲市（18名）、③安来市（10名）

テーマ：①「美保関町のこれまでにない観光資源の活用について」

②「ジオパークのPRについて」

③「商店街のある”この一画”をどうしたら良いかについて」

日 時：11月19日（金）

訪問先：①米子市（19名）、②境港市（10名）

テーマ：①「テレワーク」を利用した職場づくりの提案について

①淀江地区の地域活性化について

②「水木しげるロードを訪れた観光客に直売センターや卸売市場まで足を延ばしてもらうことについて」

○地域課題解決プロジェクト

日 時：1月14日（金）

訪問先：米子市（22名）

テーマ「米子葱でまちづくり」

新型コロナウイルス感染症拡大のため、ネギ農家とオンラインでの意見交換を実施。

特別会計事業

環日本海貨客船航路就航支援補助金 <資料1 P29>

運航再開への状況等を踏まえて、必要に応じて、別途補正予算対応を検討する計画であったが、まだ再開の見通しは立っていない状況。